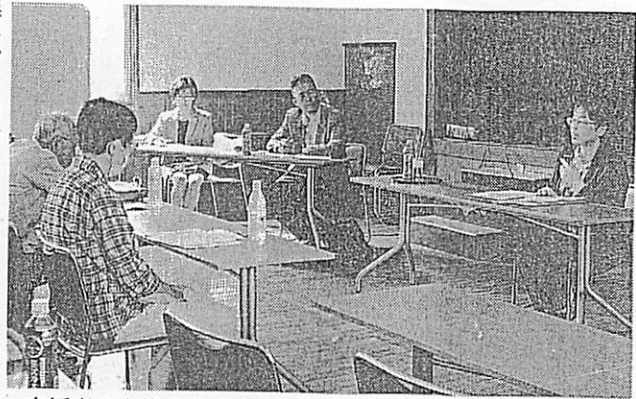


# 貧困、虐待から子どもを守る

## 甲府カトリック教会が支援活動



支援者の心構えを学んだ「子どもの権利擁護のサポート・プロジェクト」発足記念セミナー—甲府市中央2丁目

貧困や病気、虐待などの問題を抱える家庭の子どもを支援しようと、甲府カトリック教会(甲府市中央2丁目)は18日、「子どもの権利擁護のサポート・プロジェクト」を発足し、記念セミナーや事例報告を行った。

同プロジェクトは専用電話を開設し、今後、虐待や貧困などの問題を抱える家族やその支援者たちの相談に応じていく。必要があれば専門機関との橋渡し役も担う。虐待などの問題をめぐっては、関係者が相談窓口を知らないために問題が深刻化し、子どもの心に深い傷を残すことになるケースが多いため、未然に防ぐことが狙いだ。

18日の記念セミナー・事例報告には福祉関係者ら約50人が参加。セミナーでは富士川町社会福祉協議会統括リーダーの小池佐智子さんが、「その人の人生や気持ちを受け止め、最終決断は本人ができるよう支えることが大切」と支援の心構えを話した。

ドメスティックバイオレンス被害者の支援団体「女性の権利サポート・くろーばー」や、出所者の社会復帰を支援する「県域生活定着支援センター」の事例報告も聞きながら、参加者は今後の活動のあり方などを考えた。

〈窪田あずみ〉

プロジェクトの専用電話は055(237)8009。スタッフも募集している。申し込みは電話090(8031)9608(同教会・木村輝三事務局長)。